



喪失と「こころ」のケアの研究 自己回復とスピリチュアリティ

看護学科

山田 牧子 助教

【研究分野】 死や病気障害、災害など喪失に向き合うケアの現場での「こころ」のケアと倫理
 【キーワード】 スピリチュアルケア、ケアの倫理、意思決定支援、レジリエンス
 【URL】 <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=313yamada>



研究概要

困難な病気や障害、身近な死に直面することは、生きることそのものに疑問を抱き、人生の意味、死後の恐怖などについて苦しみを抱くことが起こる。これらをスピリチュアル・ペインといい、苦しみを支えていくことをスピリチュアル・ケアという。その実践の倫理やスピリチュアルペインを抱く人々の意思決定支援について、研究している。

研究紹介

東日本大震災の被災地でこころのケアを継続して行う宗教者のケアラーとしての倫理的アイデンティティ形成のプロセスについての研究。スピリチュアルケアの実践に必要な倫理的能力を、ケアラーがどのように発達・発展させてきたのかについて宗教者の語りから学び、スピリチュアルケア実践に必要な倫理について明らかにする。

1. 東日本大震災で被災した高齢者のレジリエンスとスピリチュアリティ
2. 東日本大震災で心のケアを行う宗教者の倫理的アイデンティティの形成について
3. 不登校の子供たちのスピリチュアリティとレジリエンスを支える場の研究

講座テーマ紹介

- ・ 困難をとる中でのレジリエンスを高める
- ・ スピリチュアルケアについて学ぶワークショップ
- ・ 患者と家族のこころのケアについて

アピールポイントなど

生と死の問題は宗教や哲学などを通して人間が問い続けてきている問題で、生きる意味は、患者さんでなくとも、私たちも抱え付き合っていかなければならない問題です。スピリチュアルケアについて学ぶことは、よく生きることにもつながっていきます。